

## 37 東京法学院訴訟実習会の創設

〔法学新報〕第三四号 明治二十七年一月二十九日

## ○東京法学院訴訟実習会

本会発起者増島六一郎君奥田義人君花井卓藏君大橋樹太郎君的  
場平次君<sup>(坂)</sup>阪本武治君田中文藏君は数回会合の末本会の主意書及  
規則を制定し明治廿七年一月十四日午後四時其創立の相談会を  
東京法学院に開く此日会する者廿四人其氏名如左

中村元嘉君 朝倉外茂鐵君 馬場愿治君 土方寧君  
伊藤 悌治君 花井卓藏君 三宅碩夫君 上松操君  
福島保三郎君 早川重躬君 竹井泰治君 川島龜夫君  
齊藤二郎君 高野兵太郎君 高松太喜次君 瀨下清通君  
<sup>(坂)</sup>阪本武治君 田中文藏君 萩原孝三郎君 増島六一郎君  
鈴木宗言君 的場平次君 丸山文司君 平山銓太郎君

(名簿署名名順)

増島君先つ立て発起者総代として本日会同の趣旨を述へ鈴木君  
を仮会長に推す鈴木仮会長は出席員に向て本会々員名簿に署名  
せられんことを求め一同其趣旨を賛成し其規則を遵守し會員た  
るの責務を尽すへきことを誓約するか為め自署したり仮会長は  
次に本会規則第十七条に従て役員の撰挙を施行すへきことを宣  
言し投票の結果

会長 増島君 副会長 花井君 幹事 <sup>(坂)</sup>阪本君 同 田中君

大多数を以て当撰したり次に増島会長は当撰の挨拶を為し種々相談する所あり而して来る廿七日第一回実習会裁判所開廷の爲め担当役割等を定めて散会せり時に午後六時也空論に流れて実務に頓着せざる今の風潮に逆ふて此会を起すは廿七年の我法律社会這般の挙を待つて為すあるに足らん